

科学技術への顕著な貢献 2011 (ナイスステップな研究者)

科学技術政策研究所(所長 桑原輝隆)では、科学技術の振興・普及において顕著な貢献をされた 10 組 14 名の方を「ナイスステップな研究者」として選定しました。

科学技術政策研究所では、2005 年より科学技術への顕著な貢献をされた方々を「ナイスステップな研究者」として選定しております。

2011 年は、科学技術政策研究所の調査研究活動や専門家ネットワーク(1,740 人)への調査をとおして明らかとなった科学技術の振興・普及に貢献する業績について、特にその成果が顕著であり、科学技術政策上注目すべき 10 組 14 名を選定しました。

これらの方々の活躍は科学技術に対する夢を国民に与えてくれるとともに、我が国の科学技術水準の向上につながるものでもあり、ここに広くお知らせいたします。

(お問い合わせ)

科学技術政策研究所 企画課 担当:木村、横井

TEL: 03-3581-2466

FAX: 03-3503-3996

e-mail: office@nistep.go.jp

ホームページ: www.nistep.go.jp

【研究部門】

○^{しまもと こう}島本 功 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 教授
イネ花成ホルモンの作用機構を解明し、植物ホルモン研究に新たな道を開く

○^{おがわ せいし}小川 誠司 東京大学医学部附属病院 キャンサーボード 特任准教授
大規模ゲノム解析による骨髄異形成症候群(MDS)原因遺伝子の発見

【プロジェクト部門】

○^{ひさやままち}久山町研究グループ
^{きよはら ゆたか}清原 裕 九州大学大学院医学研究院 環境医学分野 教授
^{くば きくし}久芳 菊司 久山町長

50年間にわたる精度の高い地域疫学研究と新たなエビデンスの創出

○独立行政法人物質・材料研究機構

クリープデータシートプロジェクトチーム

代表：^{きむら かずひろ}木村 一弘 環境・エネルギー材料部門 材料信頼性評価ユニット長

世界一の規模と信頼性を誇るクリープ試験の継続と発電プラント等の信頼性向上への貢献

【地域・産学連携部門】

○^{なかむら ひでひと}中村 秀仁 京都大学 原子炉実験所 助教
独立行政法人放射線医学総合研究所 客員研究員
産学官連携による革新的な放射線蛍光プラスチックの開発

○^{キニ グレン マンスフィールド}KEENI, Glenn Mansfield

株式会社サイバー・ソリューションズ 代表取締役社長

インターネットセキュリティの未来を拓く東北大学発ベンチャーの経営

【成果普及部門】

○^{いまい まこと}今井 眞 滋賀医科大学 講師

○^{たじま ゆきのぶ}田島 幸信 香りマーケティング協会 理事長

わさび成分を利用した聴覚障害者用火災報知器の開発

【人材育成部門】

○^{とよだ てつろう}豊田 哲郎 独立行政法人理化学研究所 生命情報基盤研究部門 部門長

革新的な研究情報基盤を活用したオープン形式のゲノム設計コンテストの開催

【科学技術コミュニケーション部門】

○早稲田大学/サイエンス・メディア・センター・オブ・ジャパン (SMC)

^{たなか みきひと}田中 幹人 早稲田大学大学院政治学研究科 准教授
(SMC リサーチ・マネージャー)

^{なんば みほ}難波 美帆 早稲田大学大学院政治学研究科 准教授
(SMC マネージャー)

^{かくばやし もとこ}角林 元子 早稲田大学大学院政治学研究科 研究助手
(SMC メディア・オフィサー/国際担当)

科学技術情報をメディアに伝えるハブとしてのサイエンス・メディア・センターの活動

○^{やぎ えこう}八木 絵香 大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター 特任准教授

科学技術と社会とをつなぐ対話の場をデザインする取組の実践

○ 早稲田大学/サイエンス・メディア・センター・オブ・ジャパン (SMC)

^{たなか} ^{みきひと}
田中 幹人 (39 歳) 早稲田大学大学院政治学研究科 准教授
(SMC リサーチ・マネージャー)

^{なんば} ^{みほ}
難波 美帆 (40 歳) 早稲田大学大学院政治学研究科 准教授
(SMC マネージャー)

^{かくばやし} ^{もとこ}
角林 元子 (26 歳) 早稲田大学大学院政治学研究科 研究助手
(SMC メディア・オフィサー/国際担当)

科学技術情報をメディアに伝えるハブとしてのサイエンス・メディア・センターの活動



田中 幹人 氏



難波 美帆 氏

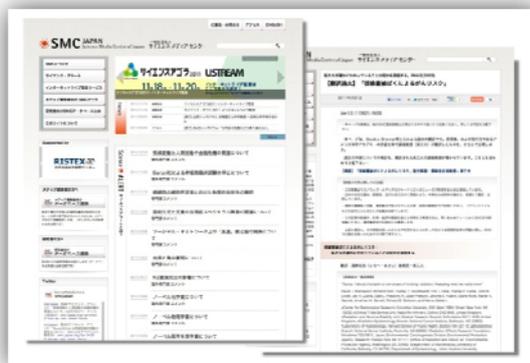


角林 元子 氏

科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) からの委託研究を実施する中で、サイエンス・メディア・センター・オブ・ジャパン (SMC) は、「科学を伝える人をサポート」することを目的に 2010 年 10 月に一般社団法人として設立されました。その中心となった田中氏は、2005 年より科学技術振興調整費による科学技術ジャーナリズムに関する研究に取り組んできました。

SMC では、①社会的関心が高い科学ニュースに対する専門家のコメントを迅速に収集してジャーナリストに提供、②科学情報を伝える地域の情報発信者のネットワーク作り、③ジャーナリスト、研究者双方の理解を深めるためのトレーニングプログラムの提供、④学会や講演会などの模様を市民に伝えるためのインターネット中継の実施、といった活動に取り組んでいます。

本格的な活動を開始して間もなく発生した東日本大震災では、原子力発電所の事故に関し、放射線や被曝などについての知識や健康への影響などの情報を迅速かつ客観的に発信すべく、研究者などから収集した情報や投稿を即座にネット上で公開するとともに、国内外のメディアからの求めに応じて専門家の紹介や情報提供などを精力的に行いました。



SMC Web サイトの画面

SMC は、科学技術情報をより正確で多面的に伝えることでメディアに流通する情報の質を高めるために有効な取組を行っています。このような取組が発展することにより、社会における科学技術の議論が一層促進されることが期待されます。

経歴

○ 田中 幹人

生年月日 1972 年 6 月 27 日（39 歳）

略 歴

- 1997 年 国際基督教大学 教養学部理学科 生物専攻 卒業
- 2003 年 国立神経研究所 流動研究員
- 2005 年 東京大学大学院 生命環境科学系 博士課程 修了（学術博士）
- 2005 年 早稲田大学大学院政治学研究科
科学技術ジャーナリスト養成プログラム(MAJESTy) 助手
- 2010 年 同 政治学研究科 ジャーナリズムコース 准教授

○ 難波 美帆

生年月日 1971 年 7 月 18 日（40 歳）

略 歴

- 1995 年 東京大学 農学部農業生物学科 卒業
- 1995 年 講談社入社
- 1999 年 フリーランスのライター（医療、科学、国際向けの広報等）

2005年 北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット (CoSTEP)
特任准教授

2010年 早稲田大学大学院政治学研究科 ジャーナリズムコース 准教授

○ 角林 元子

生年月日 1985年1月2日 (26歳)

略 歴

2005年 マッセー大学 (ニュージーランド) 理学部物理学専攻 卒業

2008年 同 理学部生物物理学専攻 修士課程 修了

2009年 同 ジャーナリズム学科 准修士課程 修了

2010年 早稲田大学政治経済学術院 研究助手

主な受賞歴

ブルース・ジェッソン調査ジャーナリズム賞 (2009年)

<個別取材などのお問合せ先>

一般社団法人サイエンス・メディア・センター

TEL : 03-3202-2514

FAX : 03-3207-2497

E-mail : smc@smc-japan.org